

令和5年度 第2回豊明市文化財保護委員会会議録

日 時：令和6年2月29日（木）

場 所：豊明市役所新館3階 教育委員会室

出席者：佐野委員、近藤委員、相場委員、鈴木委員、岡村委員、永井委員、鬼頭委員、岩本委員

事務局：高木教育部長、相羽生涯学習課長、青木生涯学習課長補佐、岸田専門員

傍聴人：なし

1 教育部長挨拶

皆様方の文化財に関するさまざまな知見を活かして、文化財保護行政を行っていききたい。

2 議題

（1）令和5年度 事業報告について

（事務局説明）

○歴史民俗資料室について

- ・年2回の収蔵室公開と常設展示の展示替えを年2回行った。また、資料室廊下壁面には「豊明市50年の歩み」の写真や「豊明市文化財スタンプ」の原画など掲示し、体験学習室では企画展・ワークショップを開催。3月末現在の来室者数は3,707名である。

○ナガバノイシモチソウ・大狭間湿地の管理状況について

- ・ナガバノイシモチソウの一般公開は、5日間で805名の参加があり、大狭間湿地の一般公開については5日間で490名の参加があった。

○文化財保護委員会視察研修について

- ・本年度もコロナの感染状況を踏まえ中止とした。

○文化財講座について

- ・年に5回実施した。5回目は12月9日に「提灯山の夜空に明かりを灯す～桶狭間の戦い歴史再現」を開催し、一般参加者以外に沓掛小学校創立150周年記念を迎える沓掛小学校の児童にも提灯歩きに参加していただいた。参加者数は258名である。

○企画展について

- ・「知ってる？ 日本刀のこと 火縄銃のこと」を令和5年11月3日から令和6年1月13日に開催した。見学者数は1,002名である。

○埋蔵文化財の保護調査について

- ・薬師ヶ根遺跡の包蔵地に該当する試掘調査を実施し、2月7日に工事立ち合いを行った。ともに遺構・遺物の出土はなかった。

○寄贈品について

- ・16件の寄贈を受けた。特に昭和30～40年代を中心とした寄贈品を募集し掃除機や白黒テレビ（昭和26年製造のもの）が寄贈された。これら寄贈品については、来年度の企画展に向けて展示を考えている。

また近世の東海道沿いで医業に携わってきた三田家から籠、人力車、兜などの寄贈を受けた。

議題（２）令和６年度 事業計画について

（事務局説明）

- ・文化財保護委員会は年２回（５月と２月）の開催を考えている。なお、必要に応じて臨時会を実施する予定である。
- ・令和６年度の委員会視察研修は、コロナの感染状況をみて検討していきたい。
- ・ナガバノイシモチソウの一般公開は例年通り前半の２日間（７月２７日・２８日）のみ大狭間湿地とのマイクロバスの巡回を考えている。

（委員）

子どもたちの資料室の活用が、資料室と学校の遠近により差がでるのは問題である。マイクロバスなどを利用して来館を促せないのか。

（事務局）

クリーンセンターへ行くマイクロバスの手配については、現在実施している。歴民資料室へのマイクロバス配車の予算も確保している。学校からの希望があれば、速やかに実施できると思う。

（委員）

小学生向けの資料室のパンフレット（展示解説）も作成するといい。また、資料室の活用例（見学メニュー・土器づくり埴輪づくりなどの体験メニュー）も提示できるとよい。

（委員）

学校においては給食時間もあり体験する時間がとれない状況にある。

このため体験プログラムを出前講座でやってはどうか。

（委員）

小型の民具を学校へ持参して学校で説明するとよい。学校が民具を借りにくるしくみを作ってはどうか。小学校に対して、こちらから実施できるような具体的なメニューを提案して投げかけるとよい。

（事務局） 子供向けの対応についても今後考えていきたい。

○次第 その他 令和６年度広報特別号掲載記事について

（事務局）

- ・「豊明のナガバノイシモチソウ」保全活用計画書を完成し、県の審議会に諮って承認された。
- ・次年度の文化財特集号については岡村委員にお願いしたい。
- ・企画展については、昭和３０～４０年代の昭和の暮らしの資料を展示していきたい。先日寄贈していただいた昭和２６年製造の白黒テレビを中心に、その時代の世相（衣・食・住）を踏まえた展示をしてはどうかと考えている。テーマは「（仮）わが家にテレビがやってきた！」と題し、この企画展を通して将来的には、回想法につなげていきたいと考えている。

（事務局）

昨年は牧野富太郎と徳川家康を中心に展示替えを行った。今年は８月～１０月に特別展「豊明の伝説一万物に宿る精霊・妖怪」を開催し民具を活用した展示を考えている。

なお、８月１０日には関連事業としてナイトミュージアムを開催し、事前に文化財講座で作制した竹明りを当日飾って楽しんでもらう計画である。

(委員)

高校生を巻き込んで「地域おこし」に協力してもらってはどうか。これについては具体的な内容を示しておく必要がある。例えば観察・調査した内容を発表する場をつくってあげることもよいのではないかと思う。

次回の文化財保護委員会の日程については、5月24日（金）午前10時を予定。